

■□■ 後期高齢者医療見直しの先にあるものは ■□■

国保広域化でいのちは守れない

国民皆保険の土台、顔の見える市町村国保再生への提言

寺内 順子・寺越 博之・平澤 章・編著

後期高齢者医療制度の見直しとともに、急速に進みだした国保広域化の動き。そこには具体的な提起はほとんどなく、「広域化によるスケールメリット」など抽象的な幻想が先行しています。しかし、広域化がもたらすものは、保険料アップや条例減免の全廃、短期保険証・資格証明書の機械的発行など、現在以上に住民を医療保障から遠ざけること。国保広域化とは、市町村が住民の命を守る仕事を放棄することにほかなりません。国保広域化の本当の狙いと現在の国保制度の問題点、市町村国保だからできたこと、そして、私たちがめざす国保制度についての提言をまとめました。

★本書の構成★

- 第1章 国保広域化は何を狙うのか
- 第2章 高すぎる保険料問題と国保等の広域化
- 第3章 社会保障運動は国保をどう充実させてきたか
 - 1、町村の国保担当者も議会も「国保は私たちの手で」と―長野のとりくみ
 - 2、「資格証明書・ゼロ」への取り組み―さいたま市
 - 3、東大阪市 日本一の一部負担金減免はいかにつくり、守ってきたのか
 - 4、石川県川北町 住民の暮らしや顔が見える小さな町の大きな実践
 - 5、無保険のこども解消へ 住民運動とマスコミの共同で国が動いた
- 第4章 国民健康保険の歴史―市町村国保はいかにつくりられたのか
 - 1、戦前から1958年新国保法まで 2、新国民健康保険法の成立とその背景
- 第5章 [提言] 住民の健康とくらしを守る国保へ

A5判・168頁 販売価格1500円(税込・送料別)・かもがわ出版より発売

取扱い◆大阪社会保障推進協議会 〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労会館内

電話 06-6354-8662 ◇ fax 06-6357-0846 ◇ E-mail osakasha@poppy.ocn.ne.jp

「国保広域化でいのちは守れない」注文書

●おなまえ

●団体名

●送り先 〒

冊注文 ●電話

●ファクス